

る。この状態で推進工法と同様に元押ジャッキによって掘進機を所定の切替位置まで掘進させる。その後、シールド工法と同様に掘進機内部に設置されたシールドジャッキを用いて掘進させ、セグメントを組立て掘進を続行させる工法である(図-2)。

3 内圧対応推進管の規格

(公社)日本下水道協会では、平成30年7月1日にJSWAS A-2の見直しを行い、内圧が作用する場合に適応できる内圧管を追加した。

これにより外水圧に対して0.4MPa(40m相当)、内水圧に対しては、0.6MPa(60m相当)までの条件に対応可能となった(表-1)。

表-1 JSWAS A-2の仕様 ((公社)日本下水道協会資料より引用)

形状	内外圧	外圧強さ	内圧強さ	継手性能	圧縮強度	呼び径の範囲
標準管	外圧管	1種	-	JA(0.1MPa)	50,70	800~3000
		2種		JB(0.2MPa)		
		3種		JD(0.4MPa)		
	内圧管	1種	AW2(0.2MPa)	JA,JB,JC,JD		
		2種	AW4(0.4MPa)	JB,JC,JD		
		3種	AW6(0.6MPa)	JB,JC,JD		
中押管	S	-	-	JA,JB,JC,JD	-	1000~3000
	T 内外圧管	1種	AW2	JA,JB,JC,JD	50,70	
		2種	AW4	JB,JC,JD		
		3種	AW6	JB,JC,JD		

4 船橋市浸水対策

4.1 二重川2号幹線管きょ築造工事

当該案件は、超過雨量を新設管きょ内に一時貯留させ晴天時にポンプ排水させる計画である(図-3)。

(1) 工事内容

仕上り内径：2,200mm
 施工延長：L=956.6m



図-2 デュアルシールド工法の施工手順



図-3 計画図 (出典：船橋市Webサイト)

推進施工：L=323.0m

シールド施工：L=633.6m

使用管材：下水道推進工法用鉄筋コンクリート管
 2種50N 4P対応
 外径φ2,580mm
 RCセグメント(二次覆工省略型)
 外径φ2,550mm 桁高175mm
 鋼製セグメント
 外径φ2,550mm 桁高100mm
 掘進方法 泥濃式